

# 【エコアクション21】 環境活動レポート 2024年度

(対象期間：2025年1月1日 ～ 2025年3月31日)



発行日：2025年5月1日  
理研産業株式会社

# 環境経営方針

私たちは、「“これからの働く”を実現する」を経営理念とし、「すべてのモノを大切にできる心」を持ち続けます。商品の供給者、資源の消費者としての責任を謙虚に認識し、一人ひとりが「これからの働く」を考え、環境にやさしい活動ができることからひとつずつ行います。そして、自主的かつ継続的な改善に取り組んでまいります。

## 環境行動指針

1. 二酸化炭素排出量を削減します。重点分野として、電力・燃料の削減を推進します。
2. 廃棄物の排出量を削減します。
3. カートリッジ・部品の再生利用を推進します。
4. 環境に配慮した製品・サービスの取り扱いを積極的に推進します。
5. 活動の推進にあたっては、目標を設定し、定期的に見直しを実施します。
6. 環境関連法規制及び利害関係者との同意事項を順守します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2025年1月6日

理研産業株式会社  
代表取締役社長 久保田 勝彦

# 1. 取組の対象組織・活動

## (1) 組織の概要

### ① 名称及び代表者名

理研産業株式会社  
代表取締役社長 久保田 勝彦

### ② 所在地

本社	〒730-0051 広島市中区大手町四丁目6-27	TEL : 082-247-3301
R21ビル	〒731-0137 広島市安佐南区山本二丁目6-3	TEL : 082-850-0707
岩国営業所	〒740-0021 岩国市室の木町一丁目5-19	TEL : 0827-22-6050
東広島営業所	〒739-0025 東広島市西条中央七丁目3-59セントラルビル1階	TEL : 082-423-5506
呉営業所	〒737-0051 呉市中央五丁目12-17	TEL : 0823-24-3040
三原営業所	〒723-0015 三原市円一町四丁目1-32	TEL : 0848-64-1167
福山営業所	〒721-0966 福山市手城町四丁目33-35	TEL : 084-923-7171
岡山営業所	〒700-0942 岡山市南区豊成三丁目20-20	TEL : 086-264-5211
東京支店	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 WeWork内10階	TEL : 03-3214-4448
三次サービスセンター	〒728-0013 三次市十日市東3丁目11-14エクセレントビル102	TEL : 0824-63-5317

### ③ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	DX推進課副課長 牛尾 祐三	TEL : 082-247-3301
担当者	採用・育成チーム 竹田 彩	FAX : 082-247-3317

E-mail : soumu@riken-21.co.jp

### ④ 事業内容

ICT機器の販売・メンテナンス  
オフィスの空間づくり（内装工事業、電気通信工事業）、オフィス家具販売  
印刷、データ加工、スキャニング（複写業、情報提供サービス業）

### ⑤ 事業の規模

売上高 50億6,000万円（2023年度）

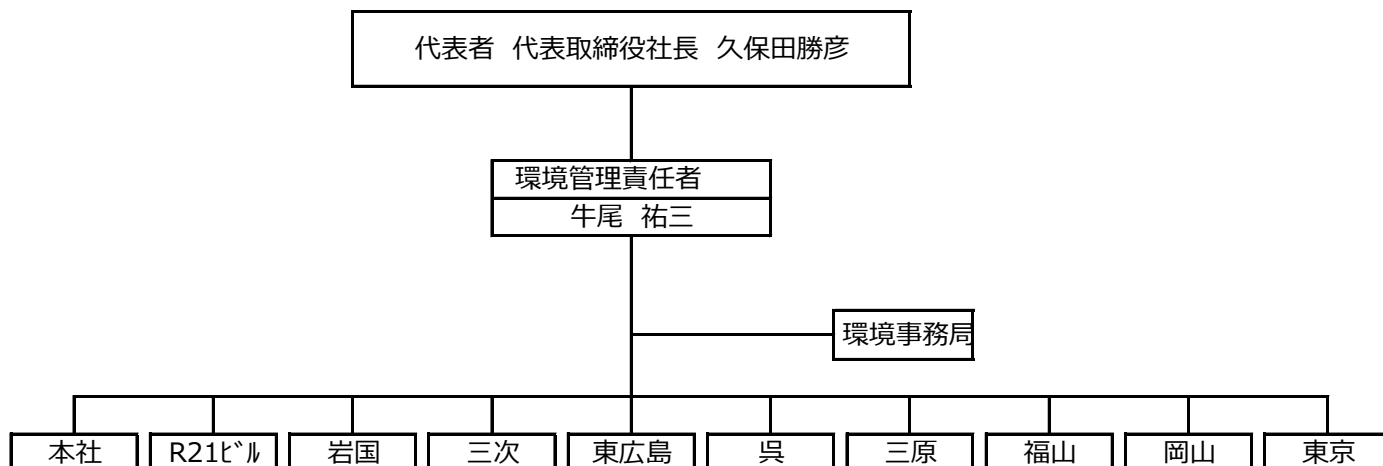
	本社	R21	岩国	三次	東広島	呉	三原	福山	岡山	東京	合計
従業員 (人)	91	37	8	2	7	8	10	12	6	4	185
延べ床面積 (㎡)	3596.12	2162.03	92.9	74.14	132.2	784.03	530.04	195	1684.00	-	9250.46

### ⑥ 事業年度 4月～翌年3月

## (2) 認証・登録の対象組織・活動 : 全組織・全活動

登録事業者名 : 理研産業株式会社  
対象事業所 : 本社、R21ビル、呉営業所、東広島営業所、三原営業所、福山営業所、三次営業所、岩国営業所、岡山営業所、東京支店  
活動 : ICT機器の販売・メンテナンス、オフィス家具販売、印刷・データ加工、建設業（内装工事業、電気通信工事業）

## 2. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>・環境教育訓練計画の作成と実施の管理</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画案の審議</li> <li>・環境経営の実施状況の評価、見直し</li> <li>・環境教育の内容検討、実施結果の評価</li> <li>・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）</li> </ul>
管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の運用管理</li> <li>・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 環境経営目標と目標対実績と判定、および、試行期間後の目標

【試行期間初めに策定した試行期間及び中期環境経営目標】

【試行期間の目標対実績と判定】

基準年度：4月～翌年3月

環境経営目標	単位	基準年度		目標				中長期目標			
		2023年度		2024年度				2025年度	2026年度	2027年度	
		4月～3月	1～3月	試行期間（1～3月）			通年				
				目標	実績	判定					実績
1	二酸化炭素排出量の削減 ※ 1	kg-CO <sub>2</sub>	402,882	110,472	109367以下	121,324	×	407,117	403046以下	398975以下	394903以下
					-1%以下	9.8%増			-1%以下	-2%以下	-3%以下
	電力使用量の削減	kWh	433,277	134,815	133467以下	155,388	×	455,851	451292以下	446734以下	442175以下
					-1%以下	15%増			-1%以下	-2%以下	-3%以下
	ガソリン使用量の削減	ℓ	70,524	15,525	15369以下	15,310	○	66,984	66314以下	65644以下	64974以下
-1%以下					1.4%減	-1%以下			-2%以下	-3%以下	
ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	45.0	17.0	17以下	14.0	○	39.0	38.96以下	38.96以下	38.96以下	
				-0.1%以下	17%減			-0.1%以下	-0.1%以下	-0.1%以下	
燃費の向上	km/ℓ	15.12	15.99	16.00以上	16.04	○	15.29	15.31以上	15.32以上	15.34以上	
				0.05%以上	0.31%向上			0.1%以上	0.2%以上	0.3%以上	
2	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	1,431	314	311以下	316	×	1,381	1367以下	1367以下	1367以下
					-1%以下	0.6%増			-1%以下	-1%以下	-1%以下
3	産業廃棄物排出量の削減	kg	22,751	1,405	1391以下	1,270	○	20,194	19992以下	19790以下	19588以下
					-1%以下	10%減			-1%以下	-2%以下	-3%以下
4	一般廃棄物排出量の削減	kg	3,140	734	727以下	737	×	3,018	2988以下	2988以下	2988以下
					-1%以下	0.4%増			-1%以下	-1%以下	-1%以下
5	R社製カラー複合機1台導入 に応じた植林によるCO <sub>2</sub> 削減量 ※ 2	kg	6,156	1,938	1,957	1,756	×	5,267	5319.47以上	5372.14以上	5424.80以上
					1%増加	10%減			1%増加	2%増加	3%増加

※ 1：電力からのCO<sub>2</sub>排出量算出は中国電力の2022年度の二酸化炭素調整後排出係数：0.552kg-CO<sub>2</sub>/kwh 使用

※ 2：R社の設定するマングローブ植林によるCO<sub>2</sub>削減量から算出しています。

注：PRTR法対象化学物質を使用していないので、化学物質に係る目標は掲げません。

#### 4. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

実施状況				
<b>二酸化炭素排出量の削減 : 未達成 (5.9%増)</b>				
<b>電力使用量の削減 : 未達成 (15%増)</b>		<b>取組結果とその評価</b>		<b>次年度の取組内容</b>
・ エアコン温度の適正管理 (冷房26℃暖房24℃)	△	継続	2025年1月～3月は基幹システム入れ替えのため残業が多く、各拠点で電力量が増加した。システム安定稼働により労働時間が削減されると考えられるので4月以降の状態を確認する。	扇風機等で空気を循環させて室温を安定させる。
・ 照明器具の適正使用 (不要時OFF)	○	継続		未使用区域、トイレ利用後の消灯を徹底する。
・ 器具交換時、消費電力を加味しLED化	実績なし	継続		退社時の電源OFFの徹底する。
・ 夜間、休日のパソコンの主電源OFF	○	継続		
<b>ガソリン使用量の削減 : 達成 (1.4%減)</b>				
・ エコドライブ10の実施	○	強化	「ふんわりスタート」の実施で、全社の平均燃費が少し上昇、併せてガソリン使用量も減少。 多年経過の車両入替促進とエコ運転の啓蒙を継続する。 (2024年度は6台の新車購入)	もっと意識してエコドライブを実行する。
・ エアコン温度調節	○	継続		寒暖に無理せず適正な温度設定をする。
・ 公共交通機関の有効利用	○	継続		利便性を考慮してバス・電車を利用する。
<b>水使用量の削減 : 未達成 (0.6%増)</b>				
・ 日常的な節水の励行 (食器洗浄等)	○	継続	東広島で異常値が発生(業者に調査依頼:特に異常なし) 異常値を除くと使用量は減少傾向にある。	効果があったため継続実施
・ 節水シールの貼り付け	○	継続		効果があったため継続実施
<b>廃棄物・資源ゴミの削減 : 一般廃棄物 未達成 (0.4%増)、産業廃棄物 達成 (10%減)</b>				
・ 分別によるリサイクルの推進	○	継続	弁当ガラにより、ビニールゴミが本社・21ビルで増加傾向他に原因があるか調査が必要。	プラスチックゴミが微量に増加
・ 両面コピー・集約コピーの推進	○	継続		印刷時に「レベル1」で確認、出力時に再確認する。
・ 印刷ミスの防止	○	継続		印刷時に「レベル1」で確認、出力時に再確認する。
・ ペーパレスの推進	○	継続		不要なものは出力せず、データで確認する。
・ 産業廃棄物の分別徹底	○	継続		削減はできているが、再資源率が下がっているので混載しないよう心掛ける
<b>環境配慮した提案活動 : 未達成 (達成率: 89.7%)</b>				
・ Rカラー複合機の販売を行う	△	継続	試用期間の販売台数: 154台 マンガローブ植林によるCO2削減効果: 1756kg	R社の設定するマンガローブ植林によるCO2削減量から算出しています。

## 5. 環境関連法規等の順守状況の評価の結果

主な環境関連法などおよび順守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	順守評価
廃棄物処理法	順守
フロン排出抑制法	順守
消防法	順守
ビル（衛生）管理法	順守
騒音規制法	順守
振動規制法	順守
大気汚染防止法	順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、特定されたすべて法規等が順守されていることを確認しました。  
なお、環境関連法規等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

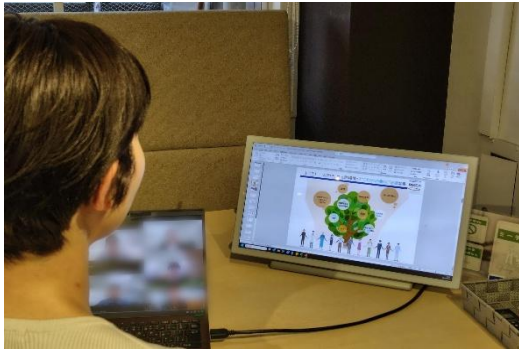
## 6. 代表者による全体の評価と見直し

当社は、地域に根ざした企業として、持続可能な社会の実現に向けた環境活動に継続的に取り組んでまいりました。今回エコアクション21の認証取得にあたり、もう一度社内の取り組みを可視化し社員一人ひとりが環境への意識を持ち、未来への責任をもって企業活動を進めていきたいと考えています。

エネルギー使用量の削減、廃棄物の適正管理、ペーパーレス化の推進など、ICT企業としての特性を活かした環境負荷低減に努めております。

今後も、ICTの力を活用しながら、環境と経済の両立を目指す企業として、持続可能な成長を追求してまいります。

## 7. 環境経営活動の紹介



### <エコアクションキックオフ勉強会>

エコアクション取得にあたり、全社社員をオンラインで繋いで勉強会を行いました。



### <ごみの分別>

各拠点には分類ごとのごみ箱を設置し、ごみ分別を行うとともに減量を行っています。



### <消火および避難訓練>

オンラインで全社員参加で行いました。  
各拠点で避難経路や消火器の位置などを確認し、いざという時の行動に備えました。



### <節水シールの貼り付け>

貴重な水資源を大切にするため、手洗い中の節水を呼びかけるシールで啓蒙しています。